

社会の健康

基本目標 7

市民の活力があふれるまち

大和市の人口推移は微増の状態にありますが、将来は、減少傾向に転じることが見込まれ、市全体の活力の低下につながることも考えられます。こうした中で、今後も活力を維持し、高めていくためには、人々の交流や活動を活発にしていく必要があります。

人々がお互いを認め合い尊重し合う中で、良好な人間関係が形成されることは、地域の活力を高めていくために非常に重要です。大和市には多くの外国人が居住しており、国籍を越えた活発な交流による相互理解を深めていくことも大切です。

商店街や企業などの活発な経済活動は、人々を呼び込み、地域に活気とにぎわいをもたらします。また、大和市の魅力を内外にアピールすることは、さらなる交流人口の拡大につながります。

さらに、市民一人ひとりが地域活動や市民活動に参加し、各々の力を出し合うことで、地域の活力が高まります。

大和市は「健康創造都市」の実現に向けて、人と人とのつながりを広げ、様々な活動が行われる、市民の活力があふれるまちづくりを推進します。

個別目標 7-1 互いに認め合う社会をつくる

個別目標 7-2 にぎわいのある地域をつくる

個別目標 7-3 地域活動・市民活動を活発にする

個別目標
7-1

互いに認め合う社会をつくる

現状と課題

- 誰もが自分らしく生きていくためには、互いを認め合い、自他の人権を大切に思う心を持ち、行動することが求められます。
- 家庭や地域、職場では、性別によって役割を固定的に捉える意識が少しずつ改善しています。男女は社会の対等な構成員であることを認識し、様々な活動にそれぞれが参画する機会をさらに確保することが求められます。
- 配偶者やパートナーからの暴力、すなわち DV*に関する相談件数は、全国的に増加の傾向にあります。被害者の緊急避難については、迅速な対応が必要です。
- 本市には様々な国籍の外国人市民が多数居住しています。異なる文化や言葉を持っていても互いへの理解を深めていくことが求められます。
- 本市は、世界の恒久平和を願い平和都市を宣言しています。戦争の悲劇を繰り返さないよう、過去の記憶を次世代につなげるための取り組みを続けていくことが大切です。

取り組み方針

- あらゆる差別がなく、どんな場面においても市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指します。(個別目標2-1、2-2参照)
- すべての人権の擁護に関する啓発を図ります。また、人権に関わる様々な悩みや問題を解決できるよう、相談しやすい環境づくりを進めます。(個別目標2-2、2-3参照)
- 男女共同参画について、地域、学校、事業所などと連携しながら、積極的な意識啓発に取り組めます。(個別目標2-3、7-2参照)
- DVに対する意識を広く啓発し未然防止を図ります。また、窓口での相談を通して実態の把握に努め、関係機関との連携を強化し被害者の迅速な緊急避難を図ります。
- 外国文化を紹介するイベントや外国語の講座など様々な機会を通して外国人市民と日本人市民の相互理解を促し、多文化共生*の推進を図ります。
- 行政情報について多言語によるきめ細かな提供に努めるなど、外国人市民の地域での生活を支援します。
- 海外友好都市との国際交流を広く推進し、外国文化をより身近に感じられるよう市民の理解を深めます。
- 平和の尊さを考える様々な機会を提供するとともに、戦争体験を後世に語り継いでいきます。

* DV……ドメスティックバイオレンス (Domestic Violence) の略で、配偶者や緊密な関係にあるパートナーから受ける身体的、性的、心理的攻撃を含む暴力のことです。

* 多文化共生……外国人市民と日本人市民がお互いの違いを認め合い、社会全体を豊かにしていくために、それぞれが地域の一員として共に存在することを言います。

めざす
成果

1

あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている

年齢、性別、国籍、障がいの有無などによる差別がなく、また、家庭、地域、学校、職場などあらゆる場面において、誰もがその人らしく生き生きと活動しています。

成果を計る主な指標

地域に差別意識はないと思う市民の割合		
現状値 (H23・2011)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
65.8%	73.0%	75.0%

主な取り組み

- ・ 人権擁護委員や関係機関と連携しながら、講演会やパネル展、中学生による人権作文、ポスターコンテストなどの啓発活動を実施します。
- ・ 家庭や地域、職場における差別やいやがらせなどの人権侵害に関する相談を行うとともに、相談窓口を周知します。
- ・ DV 防止セミナーや講演会などを開催します。また、婦人相談員による DV 相談を行い、関係機関とともに被害者に対する緊急避難措置を講じます。

めざす
成果

2

男女共同参画が実感できている

男女がそれぞれの能力を十分に発揮し、家庭、地域、職場、政策決定の場など、あらゆる場面で協力し、社会の発展を支えています。

成果を計る主な指標

男女が平等であると感じる市民の割合		
現状値 (H21・2009)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
22.4%	35.0%	35.0%

審議会、委員会などにおける女性委員の割合		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
23.8%	50.0%	50.0%

主な取り組み

- ・ 市民や事業所などへ、家庭や職場などの男女共同参画に関する情報提供を行います。
- ・ 男女共同参画に関するセミナーやフォーラム、パネル展などを開催します。
- ・ 自治会、PTA など地域における活動へ女性リーダーの登用を促進します。
- ・ 行政計画の策定など市の審議会や審査会への女性の登用を積極的に進めます。



めざす
成果

3

地域の中で多文化共生が行われている

大和市に居住する外国人市民と日本人市民との間に活発な交流を通じた相互理解が進んでいます。また、国際理解のもと平和への意識が高まっています。

成果を計る主な指標

国際交流が行われていると思う市民の割合		
現状値 (H23・2011)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
19.5%	25.0%	30.0%

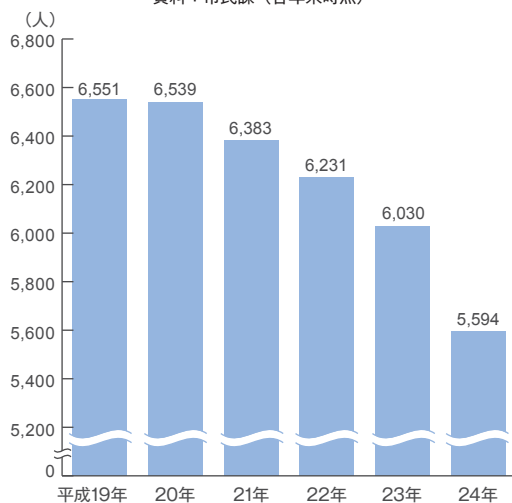
外国人を支援するボランティア登録者数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
245人	280人	300人

主な取り組み

- ・(公財)大和市国際化協会と連携して、相談や通訳により外国人市民への日常生活における支援を行います。また、日本人市民との相互理解を深める講座などを開催します。
- ・外国人市民のニーズに合わせた日本語教室が開催できるよう、教室の運営に携わるボランティアやNPO法人などへの情報提供や助言を行います。
- ・外国人市民向け、多言語及びやさしい日本語*で日常生活や災害時における行政情報を提供します。
- ・外国人市民や国際化推進団体などから、多文化共生社会の実現に向けた意見の聴取を進めます。
- ・海外友好都市である、大韓民国光明市*に関する情報提供や、交流団体への支援を行います。
- ・平和意識の啓発として、関係団体などと協力し、映画上映会、講演会、パネル展などを実施します。
- ・戦争体験の語り部による講話を後世に残すため映像化を進めます。

外国人登録者数の推移

資料：市民課（各年末時点）

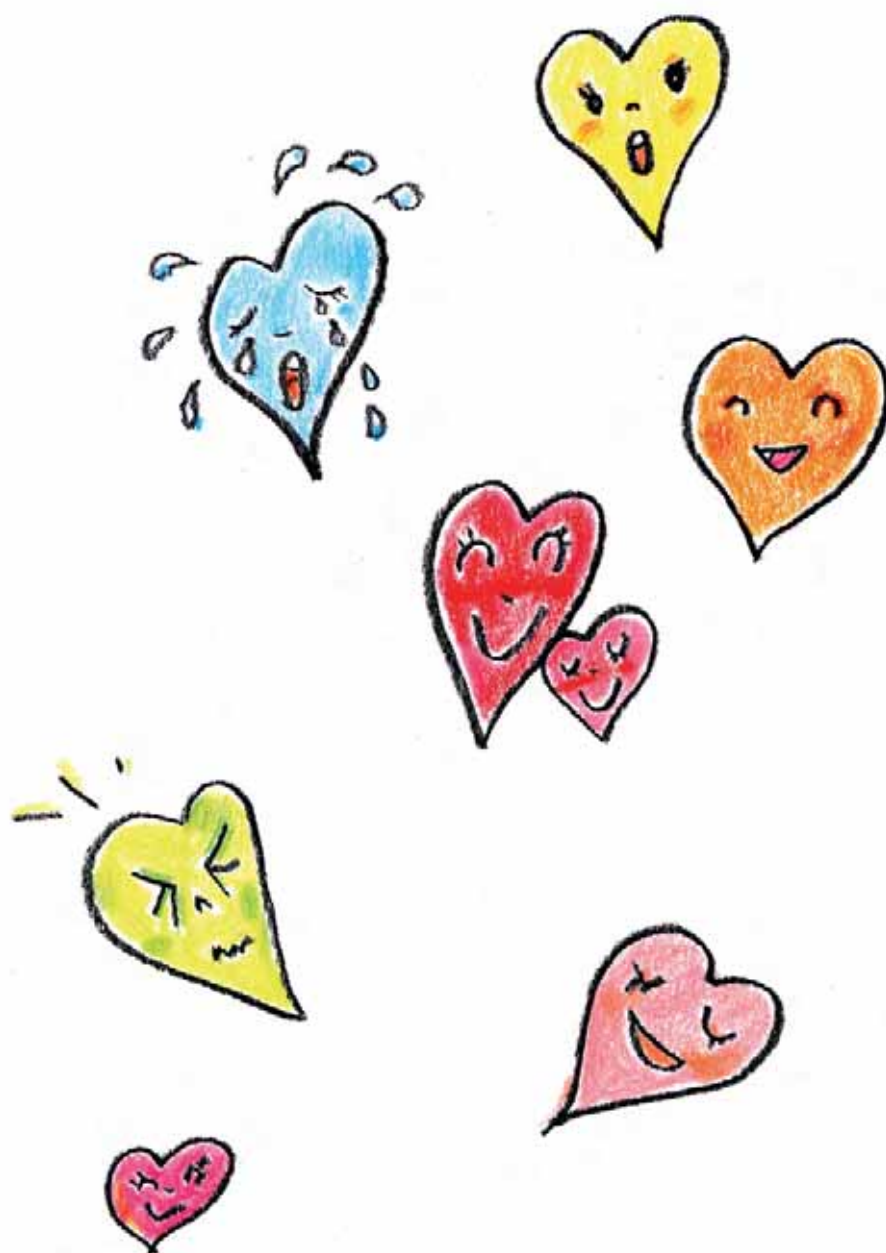


※外国人登録法の廃止に伴い、平成24年の登録者数は住民基本台帳による



*やさしい日本語……弘前大学人文学部社会言語学研究室が提唱する、普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。地震などの災害が起きたときに有効なことばと言われています。

*大韓民国光明市……大韓民国京畿道(きょんぎど)光明(くあんみょん)市は、ソウル特別市の南西に位置する都市です。本市は、平成21年11月に光明市と友好都市を提携しました。



個別目標
7-2

にぎわいのある地域をつくる

現状と課題

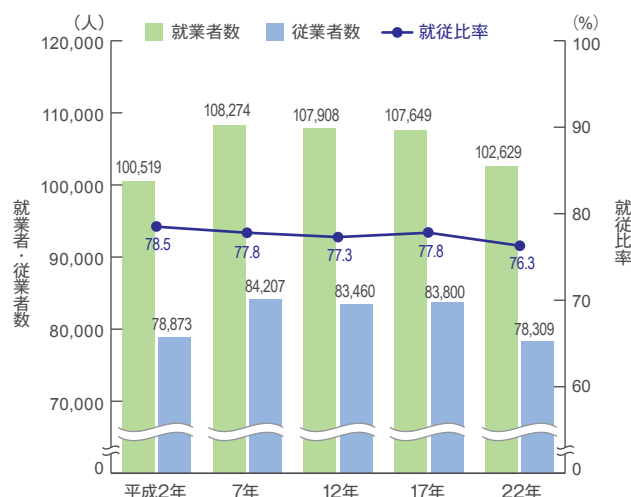
- 経済活動は、就労の場として、また、様々なサービスを楽しむ製品や農産物などを消費する場として、市民が生活を営む上で重要な役割を担っています。
- 全国的な景気低迷は、本市の商店や企業などにも影響を及ぼしています。まちなにぎわいを高めるため、市内の経済活動をより活発にすることが必要です。
- 県内の有効求人倍率が低調に推移しており、雇用環境は厳しい状況が続いています。働く意欲のある人への一層の就労支援が求められます。
- 安全で良質な地域農産物の供給や緑地としての農地の保全のために、農業の振興は大切です。農業生産者の高齢化や後継者不足などから農業を継続することが難しい状況もあり、営農環境の維持に向けた取り組みが必要です。
- 市内には大規模な公園や集客力のある地元イベントなど多くの観光資源があります。今後はこれらを有効に活用しながら、市内外から人々を呼び込んでいくことが大切です。

取り組み方針

- 中小企業に対して資金調達への支援や経営相談などを行い、企業活動の活性化を促進します。
- 商業施策に係る基本的な計画に基づいて、大和商工会議所や商店会等と連携し、商業振興を推進します。
- 就労に向けた相談会や講座の開催など、若年者をはじめとする就職希望者への支援を進めます。
- 中小企業の勤労者を対象とした福利厚生の上昇や技能習得の支援など、市内で働く人の就労環境の充実を図ります。
- 消費者と直結した地産地消を進めるため共同直売所や朝市の運営などを支援し、新鮮で安全な地域農産物の供給につなげます。
- 施設整備などによる農業の近代化を支援するとともに、有機栽培などの環境保全型農業の普及を推進します。また、農業生産者の営農をサポートする人材の育成を進めます。
- 市民に農地の持つ防災や環境面での役割を周知し、農業に対する理解を深めます。
(個別目標 4-3 参照)
- 地元イベントのさらなる発展に向けた支援を行うなど、資源を最大限に活用した観光の推進を図ります。また、大和市のアピールにつながる場所、人、物などを効果的に連携させながら、市民とともにシティセールスを積極的に進め、交流人口の拡大を目指します。

就業者・従業者数と就従比率の推移

出典：国勢調査（各年 10 月 1 日時点）



めざす
成果

1

商店街や企業が活発に活動している

商店や企業に活気があり、活発に経済活動を展開しています。
また、新たに事業を始める人が増えています。

成果を計る主な指標

大和市は、買い物しやすいと思う市民の割合		
現状値 (H23・2011)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
70.1%	73.0%	75.0%

市内商業者が商店会等に参加している割合		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
76.3%	77.0%	77.0%

法人設立数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
309 件	317 件	320 件

主な取り組み

- ・市内商工業の活性化に取り組んでいる大和商工会議所の活動を支援します。
- ・市内の商工業者が連携して実施する産業フェアなどのイベントを支援します。
- ・中小企業の起業や経営基盤の安定化に向け、金融機関を通して融資します。
- ・中小企業のビジネスマッチング*や展示会等への出展を支援します。
- ・商店会の催事や、施設の整備、ホームページの管理運営などを支援します。
- ・小中学生のものづくりへの興味や創造力を高める発明工夫のための展覧会を開催します。

めざす
成果

2

市内で働く人が増え、生き生きと働いている

市内での求人が増え、働く意欲のある人に就業の機会が提供されています。また、市内の職場で働く人の就労環境が、安全で快適な状態に保たれています。

成果を計る主な指標

市内事業所従業員数		
現状値 (H23・2011)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
77,815 人	79,000 人	80,000 人

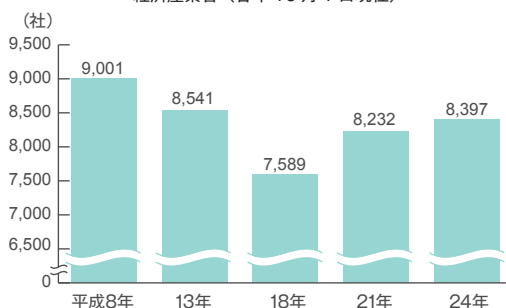
勤労者サービスセンター*の加入者数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
3,912 人	4,070 人	4,150 人

主な取り組み

- ・ヤングキャリアカウンセリング*や就職活動支援セミナーなどを開催します。
- ・ハローワークや近隣自治体と連携し、就職面接会などを開催します。
- ・勤労者を対象として労働問題や社会経済に関する講座を開催します。
- ・市内に居住する勤労者を対象に、金融機関を通して生活資金を融資します。
- ・中小企業における障がい者の雇用に関し、補助を行います。
- ・中小企業で働く勤労者の福利厚生向上に取り組む勤労者サービスセンターを支援します。
- ・退職金共済制度や特定退職金共済制度に加入する中小企業の掛け金について補助を行います。

事業所数の推移

出典：事業所・企業統計調査及び経済センサス
経済産業省（各年 10 月 1 日現在）



*ビジネスマッチング……コーディネーターを派遣して、特殊技術や独自技術を有する市内中小企業者の新規顧客の獲得や提携先の開拓をするためのサポートを行います。

*勤労者サービスセンター……中小企業の事業主、勤労者及び行政が協力して相互扶助の精神に基づく総合的な福利厚生事業を行う任意団体で、事務局は大和市勤労福祉会館内にあります。

*ヤングキャリアカウンセリング……就職や仕事のことで悩んでいる若年者等を対象に、専門的な知識や経験を持つ産業カウンセラーによる相談を行います。

めざす
成果

3

地域農産物の消費が安定的に行われている

市内の農業生産が維持され、消費者と直結した地産地消のしくみが整っています。

成果を計る主な指標

直売所などで販売する農家数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
146 軒	146 軒	146 軒

朝霧市、夕やけ市、おさんぼマート*の 年間開催回数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
202 回	200 回	200 回

主な取り組み

- ・ 共同直売所の農産物コイン販売機設置について補助を行います。
- ・ 市民朝霧市、夕やけ市、産業フェアなどの開催を支援しながら、農業生産者へ出店や出品を促します。
- ・ 米作文コンクールや、地域農産物を原材料とした推奨品のPRを通し、地域農産物の消費を促します。
- ・ 農作物の栽培技術や農産物の品質向上を目指し、品評会などを開催します。
- ・ 農産物の安定的な生産や農作業の効率化に必要な農業用施設の整備などを支援します。
- ・ 環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業生産者に補助を行います。
- ・ 農業技術に関する講座の開催などにより援農サポーターを養成し、人手を必要としている農業生産者への支援につなげていきます。



* 朝霧市、夕やけ市、おさんぼマート……市内で開催されている直売市です。朝霧市は日曜日、夕やけ市は木曜日、おさんぼマートは主に土曜日に開催しています。

めざす
成果

4 「大和」に多くの人を訪れている

大和市の魅力をアピールすることで多くの人を呼び込み、活発に交流が行われています。

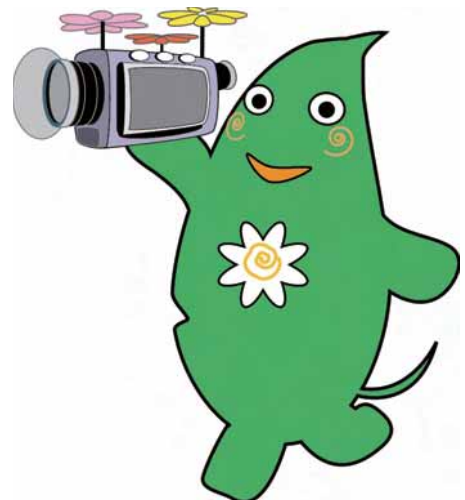
成果を計る主な指標

観光イベント・施設*の総来場者数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
1,497,380 人	1,530,000 人	1,540,000 人

フィルムコミッション*で対応した撮影件数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
60 件	66 件	72 件

主な取り組み

- ・大和市民まつりをはじめ市内各所で行われる観光イベントの開催を支援します。また、大和市イベント観光協会と連携し、観光PRに努めます。
- ・市民の協力のもと、フィルムコミッションの取り組みにより、映画、ドラマなどの撮影を積極的に誘致します。
- ・観光イベントのPRやシティセールスにあたっては、イベントキャラクター「ヤマトン」の活用をさらに増やします。



*観光イベント・施設……大和市民まつり、神奈川大和阿波おどりなど市内で行われる催事のほか、泉の森ふれあいキャンプ場、自然観察センターしらかしのいえなどの施設をいいます。

*フィルムコミッション……映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする機関です。「さがみの国大和フィルムコミッション」は、平成23年に設立されました。

個別目標
7-3

地域活動・市民活動を 活発にする

現状と課題

- 東日本大震災を契機にあらためて地域の結びつきに注目が集まっているものの、本市における自治会への加入率は低下しつつあり、自治会による地域活動の維持に向けた対策が求められています。
- コミュニティセンター*は地域活動の拠点として地域住民の手により運営されています。今後、利用者のニーズに合わせ、施設をさらに使いやすくしていくことが必要です。
- 多岐にわたる公共的なサービスへのニーズに応える NPO 法人などの市民団体が増えています。これらの市民活動は、様々な課題をよりスムーズに解決へと導くものとして、市民にとって欠かすことのできない重要な取り組みの一つとなっています。
- 自らの技能や経験などを活かして地域や社会に貢献したいという願いを持つ人が増えており、ボランティアなど実際の活動へつないでいくことが求められます。
- また、シニア世代と言われる社会経験の豊富な中高年者が地域活動や市民活動に参加していくことについても期待が高まっています。

取り組み方針

- 自治会連絡協議会の運営や自治会の活動を支援し、地域活動の活性化や住民の支えあいを推進します。
- 自治会連絡協議会との連携のもと、転入者や外国人市民、自治会未加入者に働きかけ、地域活動の基礎となる自治会への加入を促進します。
- コミュニティセンターについては、ニーズに合わせた施設改修や事業の充実を図り、地域の活動拠点として誰もが利用しやすい施設運営を促します。
- NPO 法人などの市民団体について、設立や活動の継続に必要な情報を提供するなど、積極的に支援を行い、公共を担う市民や事業者の増加を図ります。
- ボランティアとしての活動を希望する人に実際の活動状況についての情報提供をきめ細かく行い、初めての人でもボランティア活動に参加しやすい環境を整えます。
- また、自治会や NPO 法人などの市民団体への参加についても、シニア世代を中心に情報提供を進めていきます。



*コミュニティセンター……地域の方々の学習やコミュニティ活動の場を提供する施設です。市内に20館設置されています。

めざす
成果

1

地域の活動が活発に行われている

地域の中で住民同士が活発に交流し、様々な活動に取り組んでいます。

成果を計る主な指標

地域活動に参加している市民等の割合		
現状値 (H23・2011)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
25.9%	31.0%	33.0%

自治会への加入世帯割合		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
70.7%	72.7%	73.7%

コミュニティセンターの利用者数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
345,114 人	359,000 人	366,000 人

主な取り組み

- ・自治会連絡協議会と連携し、自治会への加入促進キャンペーンやチラシ配布などを行うほか、開発業者や不動産関連団体の協力を得て、転入者や未加入者へ自治会加入を促します。
- ・自治会用掲示板の設置や自治会館の改修等を支援します。
- ・コミュニティセンター管理運営委員会と協力し、地域住民に対する会館利用に向けた効果的な広報活動を行います。
- ・コミュニティセンターのバリアフリー化などの改修を計画的に実施します。

めざす
成果

2

公共を担う市民や事業者が増えている

行政との役割分担のもとに、協働事業などの公共的な活動に取り組む市民や事業者が増えています。

成果を計る主な指標

NPO 法人数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
67 団体	87 団体	97 団体

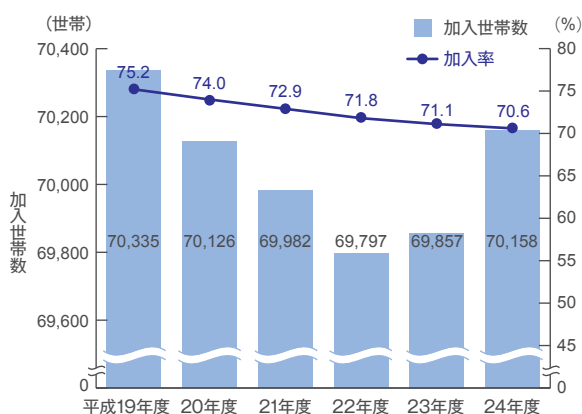
市民活動センター*利用登録団体数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
220 団体	240 団体	264 団体

主な取り組み

- ・市民活動センターを、市民との協働で管理運営します。また、運営スタッフの研修などを行い、相談機能を充実します。
- ・公共を担うNPO法人などの市民団体の設立に関し、適切な情報提供や組織づくりへのアドバイスなどを行います。また、市民団体ごとの活動状況の進展に合わせ、活動場所の提供や事業の協働化などを行いながら市民団体を育成します。
- ・ボランティアを行いたい人の求めに応じ、活動にあたっての相談を行います。また、希望するボランティアの分野につながるよう、実際の活動の見学会などを実施します。

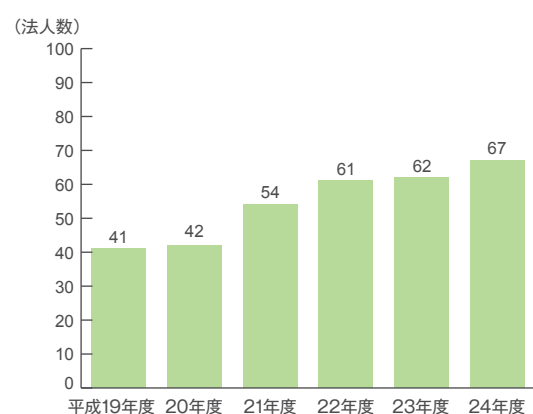
自治会への加入世帯数と加入率の推移

資料：自治会連絡協議会（各年度6月1日時点）



NPO 法人数の推移

資料：市民活動課（各年度末時点）



* 市民活動センター……市民活動の拠点として、情報の受発信、交流のために利用できる、市民活動団体が運営する施設です。

